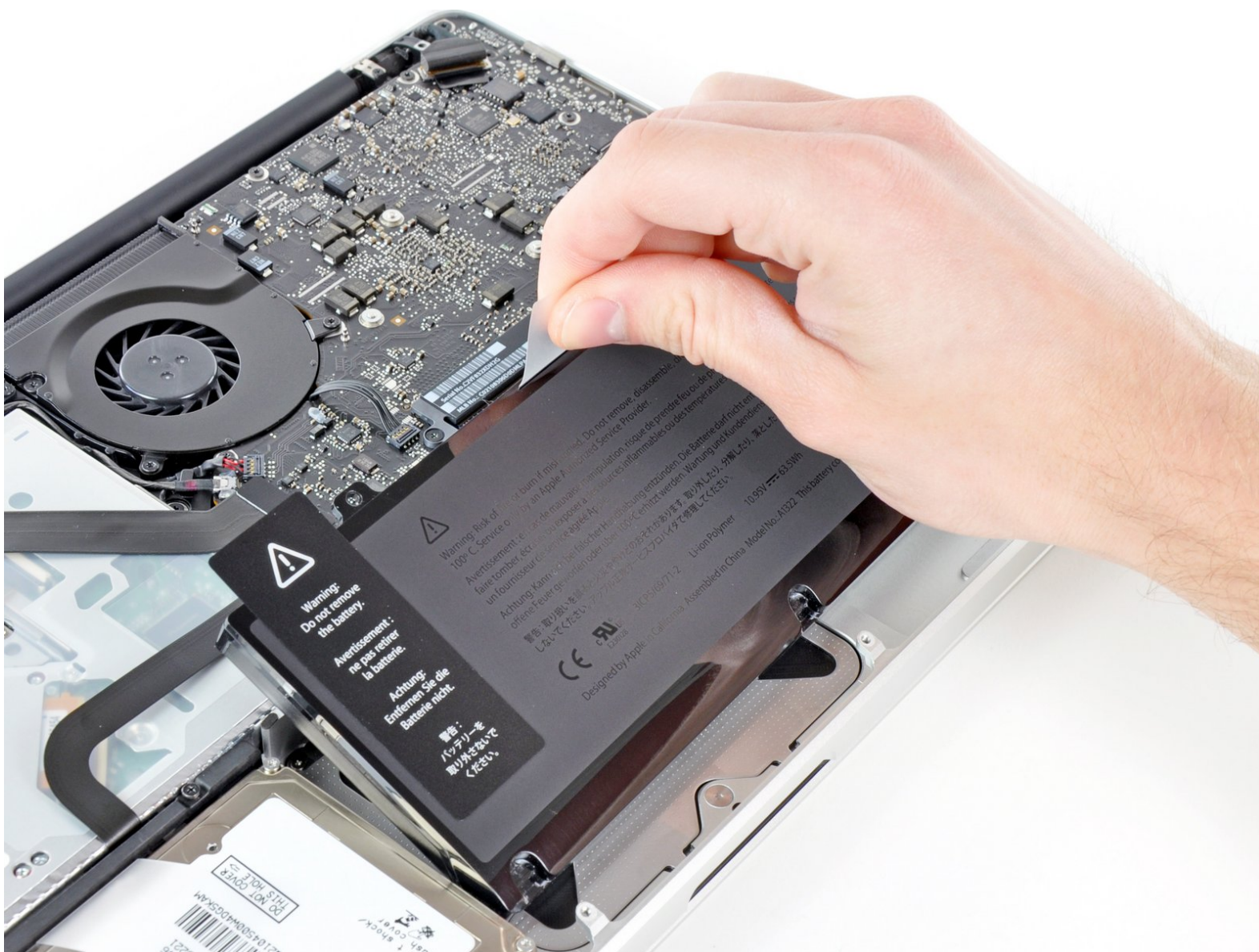




MacBook Pro 13" Unibody Mid 2012のバッテリーの交換

この手順を使って消耗したバッテリーを交換しましょう。バッテリーが膨張している場合は、
[[Wha...

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

この手順を使って消耗したバッテリーを交換しましょう。バッテリーが膨張している場合は、[\[\[What to do with a swollen battery|take appropriate precautions|このガイドを参照して、適切にバッテリーを処理してください|new_window=true\]\]](#)。

[video: <http://www.youtube.com/watch?v=ZJvOoSKIPfM>]



ツール:

- プラススクルードライバー(#00) (1)
- スパッジャー (1)
- トライポイントネジ Y0 ドライバー (1)



部品:

- MacBook Pro 13" Unibody (Mid 2009 to Mid 2012) Replacement Battery (1)

手順 1 — 下部ケース



- 次のネジを10本外します。
 - 14.4 mm #00 プラスネジ—3本
 - 3.5 mm #00 プラスネジ—3本
 - 3.5 mm #00 肩付き プラスネジ—4本
- 小さなネジを交換する際は、ケースのわずかに湾曲した部分に対し、垂直にネジを揃えてください。

手順 2



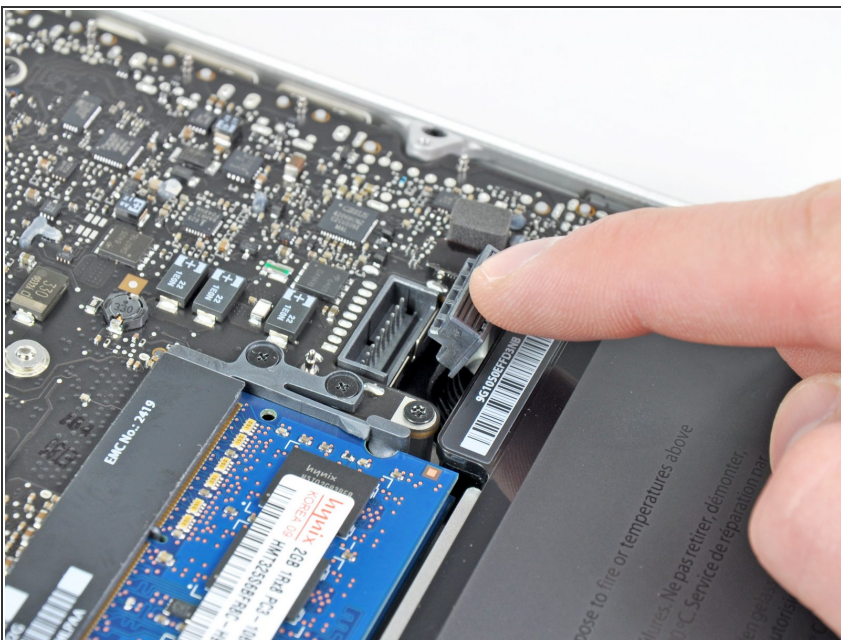
- 排気口（液晶ヒンジ部）付近より、底ケースを指で開けます。
- 底ケースを取り外します。

手順 3 — バッテリーの接続



- スパジャの先端を使って、バッテリーコネクタをロジックボードのソケットから上向きに引き上げます。
- ① ソケットからバッテリーコネクタを外す際に、両側の短いサイドから上向きに引き上げると作業がしやすいです。コネクタの角に気をつけてください。簡単に壊れてしまいます。

手順 4



- バッテリーケーブルをロジックボード上のソケットから外して、わずかに折り曲げておきます。そうすると、作業中にアクシデントで接続することがありません。

手順 5 — バッテリー



- 次のネジを2本外します。
 - 5.6 mm トライポイントネジ 1本
 - 13 mm トライポイントネジ 1本

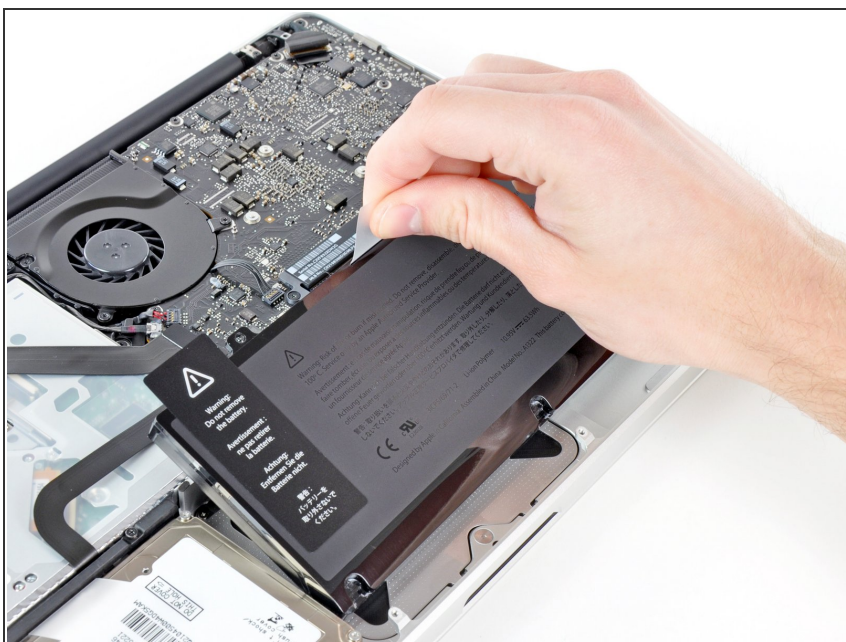
手順 6



- バッテリーの警告ラベルを、光学ドライブの間の上部ケースから丁寧に剥がします。

⚠ バッテリーから警告ラベルを完全に外さないでください。

手順 7



- バッテリー上部についているプラスチックのプルタブを使って、上部ケースからバッテリーを外します。
- ① この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[カリブレーション](#)を行なってください。
- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook Pro のSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従ってください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。